

## 日本の良さを世界のために

### －国連・開発・平和構築外交の現場で学んだこと－

2017年12月27日

外務省・紀谷昌彦

[masahiko.kiya@mofa.go.jp](mailto:masahiko.kiya@mofa.go.jp)

#### 1. はじめに：模擬国連からの出発

世界と、日本と、日本人一人ひとりの間にウィン・ウィン関係を構築

#### 2. 外務省での経験：国連・開発・平和構築の接点

米国，バングラデシュ，PKO，国連企画，防衛省，ベルギー，南スーダン

#### 3. 国連外交の現場：開かれた国益のために活用・改革・参画

- ・国連総会ハイレベルウィーク：地球規模課題のアジェンダ設定に参画
- ・国連総会議長の広島・長崎式典出席：日本の思いを世界と共有，ともに取組を推進
- ・「日本の国連外交の課題」：開かれた国益を追求する戦略と体制が必要

#### 4. 開発外交の現場：自助努力支援に向けての競争と協調

- ・ナイジェリア：自助努力が報われる政治・社会の構築をどう助けるのか
- ・米国：日本の「顔の見える援助」とグローバルな「援助協調」の対立の克服が課題
- ・バングラデシュ：「開発援助の見本市」で「現地ODAタスクフォース」を推進

#### 5. 平和構築外交の現場：PKOと人道・開発支援の連携推進

- ・防衛庁運用課部員：国際平和協力法，カンボジアPKO，関係者の思いを実感
- ・国際平和協力室長：平和構築政策演説，PKO派遣，人材育成事業立ち上げ
- ・駐南スーダン大使：自衛隊が幅広く活躍，JICA等と連携，政治プロセスも関与

#### 6. 役に立つ勉強：マネジメントと歴史と語学を継続して学習

- ・マネジメント：社会・組織・人を動かす，付加価値を生み出す
- ・歴史：マネジメントで実現すべき価値自体を問う
- ・語学：いきなり必要になる

#### 7. おわりに：日本の良さを世界のために

- ・日本，日本人一人ひとりの強みを生かして，世界の安全と繁栄と自己実現を主導し自らの利益を増進，特に「共通利益」は利己的行動を正当化（例：SDGs）
- ・「外交は共通利益の芸術」，ただし日本人一人ひとりの創意工夫が不可欠

**【参考1】 関心を持った人のためのウェブサイト**

在南スーダン日本国大使館「南スーダン通信」

[http://www.ss.emb-japan.go.jp/itpr\\_ja/topics\\_newsletter.html](http://www.ss.emb-japan.go.jp/itpr_ja/topics_newsletter.html)

G R I P S開発フォーラム「ODAの現地機能強化を推進するために  
—バングラデシュ現地ODAタスクフォースの実践と教訓—」

<http://www.grips.ac.jp/forum/pdf07/dp17.pdf>

国連フォーラム「国連職員NOW！」

<http://www.unforum.org/unstaff/index.html>

ワシントンDC開発フォーラム「フォーラムの紹介・ミッション」

<http://www.devforum.jp/introduction>

**【参考2】 関心を持った人のための本**

岡崎久彦『外交官とその時代』5部作（PHP文庫）

兼原信克『戦略外交原論』（日本経済新聞出版社）

紀谷昌彦「日本の国連外交の課題—実務者の視点から」,

日本国際連合学会編『(国連研究第11号) 新たな地球規範と国連』（国際書院）

大野健一『途上国ニッポンの歩み—江戸から平成までの経済発展』（有斐閣）

篠田英朗『平和構築入門—その思想と方法を問いなおす』（ちくま新書）

小宮一慶『経営者の教科書—成功するリーダーになるための考え方と行動』  
（ダイヤモンド社）

武田早雲『ポジティブの教科書—自分も周りの人も幸運体質になる  
3つの基本と11の法則』（主婦の友社）

（以上）